

令和 4 年 5 月 19 日現在

機関番号：12701

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K02658

研究課題名(和文)台湾現代文学における多元性の再構築 新移民・LGBT文学を中心に

研究課題名(英文)Reconstructing Pluralism in Taiwanese Contemporary Literature

研究代表者

四方田 千恵(垂水千恵)(YOMOTA-TARUMI, CHIE)

横浜国立大学・国際戦略推進機構・教授

研究者番号：70251775

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文):各年度ともに総合テーマ「台湾現代文学における多元性の再構築」のもとで設定した個別研究テーマに基づき、海外調査を含む研究を各自行い、その成果を定例研究会で共有するほか、国内外のシンポジウム、学会などで報告した。また、2017年度には台湾大学台湾文学研究所との共催で「移民工文学与文学奨国際研討会」を、2018年度には日本台湾学会(主催)との共催で国際公開シンポジウム「台湾における婚姻平等化への道」を開催した。2019年度に開催予定であった大規模な国際ワークショップはコロナ禍により中止となったが、全156頁の電子版『跨・界;第三屆 戦後亞洲文學與文化傳播國際工作坊 預稿集』としてまとめた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究成果で言及した国際シンポジウムやワークショップ、また各自の学会における報告は台湾現代文学における多元性を広く社会に知らしめる効果を果たした。特に、研究分担者及川茜による鯨向海の詩集『Aな夢』や、呉明益の最新代表作『雨の島』の翻訳刊行は、日本における台湾現代文学の周知に大きな貢献を果たした。また、研究代表者四方田千恵(垂水千恵)が、単著『奮鬥の心霊：呂赫若與他的時代』を台湾で刊行したことも、本研究成果の国際的広がりを示すものと言える。

研究成果の概要(英文): In each year, based on the individual research themes set under the comprehensive theme "Reconstructing Pluralism in Taiwanese Contemporary Literature," each researcher conducted research, including overseas surveys, and shared the results at regular study groups, as well as reporting at symposiums and academic conferences in Japan and overseas. In 2017, we co-hosted the "Immigrant Engineering Literature and Literature Research" with the Institute of Taiwanese Literature, Taiwan University, and in 2018, we held an international public symposium "The Road to Marriage Equality in Taiwan" in collaboration with The Japan Association for Taiwan Studies.

研究分野：台湾文学

キーワード：LGBT 移民 台湾 現代文学 多元性

## 1. 研究開始当初の背景

申請時の2016年の台湾現代社会においては、すでに既存の福佬人、客家人、外省人、原住民族という四大エスニシティ（族群）には分類されない新しいエスニック・グループが出現し文学活動を行い始めていることや、エスニック・グループの枠組みでは括れないLGBTなど台湾社会に横断的かつ周縁的な領域の文学活動に注目するようになった。

そのひとつが、新移民文学ともいうべき、主に1990年代後半より東南アジアや中国から台湾に渡り定住した外国籍の人々による文学活動である。台湾では新住民または移民工と呼ばれているこれらの新移民は2015年時点で64万人を超え、原住民族の総人口を凌駕した。こうした社会状況を背景に、2014年に「第1回移民工文学賞」が設立され、2016年には第3回を迎えている。本研究はこういう観点から、新移民工文学に注目した。

さらに、それと並行してセクシュアリティにおける多元性を表現するLGBT文学の存在にも注目した。申請時の2016年には同性婚法の成立（2019年）はもとより、それに先立つ2017年5月に司法院大法官会議で下された同性婚を認めないことは憲法違反である、という判決さえまだ出ていない段階であった。しかし、2012年には台湾伴侶權益推動聯盟（TAPCPR）が同性婚を含む「多元成家」支持を求める署名活動を始め、一年間で15万人の署名を集めており、遠からず多元成家法案が成立するのではないかと注目されていた。こうした社会的背景を反映して、LGBT文学も多元化していることに注目したのが、本研究の出発点である。

## 2. 研究の目的

以上のような最新の台湾の社会状況を背景として生まれた主として2010年以降の台湾現代文学を対象に、四大エスニシティに基づく「台湾」文学という概念が、脱構築され、より多元的なアイデンティティに基づく台湾「新」文学が再構築されていく過程を、作品研究や作家インタビューに基づく論文執筆、翻訳、さらには台湾人研究者との交流を通じて明らかにしていくことが、本研究の目的である。

## 3. 研究の方法

基本的には総合テーマ「台湾現代文学における多元性の再構築」のもとで設定した個別研究テーマに基づき、海外調査を含む研究を各自行い、その成果を定例研究会で共有した。また、その個人の成果は国内外の学会で個人的に報告、論文として刊行するほか、1年に1度は大型の国際シンポジウムまたは国際ワークショップを開いて、その成果を広く発信する方法を取った。さらには、小説・詩集の翻訳の刊行、という形でも成果を発信した。

#### 4. 研究成果

各年度ごとの具体的な成果は以下のとおりである。

平成 29 年度は総合テーマ「台湾現代文学における多元性の再構築」のもとで設定した個別研究テーマに基づき、海外調査を含む研究を各自行い、その成果を定例研究会（6 月 26 日於東京大学）で共有した。また、2017 年 12 月 27 日には台湾大学台湾文学研究所との共催で、国際シンポジウム「移民工文学与文学獎國際 研討会」を開催、張正、阿滢といった移民工文学獎の主催にかかわる専門家の基調報告をもとに、知見を広め、またその結果を公開した。さらに、各自が国内学会、国際学会などで個別に成果発表を行った。

平成 30 年度は個別調査や個別の報告、さらには定例研究会（5 月 27 日午後於横浜国立大学）でそれらの成果を共有した他、3 回の国際シンポジウム、ワークショップを開いた。一つは 2018 年 5 月 26 日には日本台湾学会第 20 回大会で分科会企画「現代台湾社会における『新たな郷土想像』—鄭清文作品との接点から」を開き、研究協力者明田川聡士が報告を行ったほか、研究代表者四方田千恵（垂水千恵）、研究分担者三木直大がコメンテーターを務めた。

また、翌日 5 月 27 日（午前）には、研究代表者四方田千恵（垂水千恵）が開催校代表として勤務校である横浜国立大学において国際公開シンポジウム「台湾における婚姻平等化への道」を日本台湾学会（主催）と共催し、多くの聴衆を集めた。

さらに、研究分担者の及川茜が台湾を代表する LGBT 詩人である鯨向海の代表詩集『A 夢』の翻訳『A な夢』を刊行したことは大きな成果である。それを記念し、2019 年 1 月 12 日には赤松の勤務校である大妻女子大学で国際シンポジウム「台湾詩新世代——現在詩と性の表象」を開催した。これは三木直大が継続して開催してきた台湾 現代詩ワークショップの第 7 回目にもあたる。台湾から二人の詩人楊佳嫻・騷夏を招聘し、日本の現代詩人山田亮太も交えて、活発な議論を展開した。このシンポジウムの成果は 2019 年 5 月号の『現代詩手帳』に掲載された。

令和元年度は科研最終年度としてこれまでの成果をまとめ、令和 2 年 3 月 5、6 日の両日、横浜国立大学において大規模な国際ワークショップ「跨・界; 第三屆 戦後亞洲文學與文化傳播國際 工作坊」を開催する予定で、1 年をかけて準備を重ねてきた。これは本科研メンバーに加え、台湾、香港、中国、マレーシア、シンガポール、韓国の合計 16 名の研究者が論文報告および討論を行うという、研究計画の最終年を飾るにふさわしい規模と水準の国際ワークショップとなるはずであった。しかし、すでに予稿集の編集まで進んでいた段階で、新型肺炎の感染拡大により、海外からの研究者は参加不能となり、国内研究者にも大学からの集会の自粛勧告が出たことを受けて、国際ワークショップの開催は急遽中止・延期となった。完璧とは言えないものの、その成果は全 156 頁の電子版『跨・界; 第三屆 戦後亞洲文學與文化傳播國際 工作坊 預稿集』としてまとめ、互いに共有した。

本研究は元来は令和元年度に終了する予定であったが、コロナ禍のため、終了期間の延長が認

められた。令和2年度は海外渡航ができない、というハンディを抱えつつ、リモートを利用しての研究交流に努力した。研究代表の四方田千恵（垂水千恵）は、単著『奮鬥的心靈：呂赫若與他的時代』（國立臺灣大學出版中心）を刊行したほか、Zoomによる研究会を4回主催した。

令和3年度はコロナ禍のため、再度の終了期間の延長が認められた。研究代表の四方田千恵（垂水千恵）は、これまでの研究成果を論文集としてまとめることに専念した。その成果の一部は招待講演：福岡ユネスコ文化講演会「「台湾」を読む—台湾新文学からLGBTQ文学まで」（11月6日、於北九州市立文学館）で発信した。

そのほか、研究分担者である赤松美和子は日本台湾学会第23回学術大会「テーマ：予定調和のためのジェンダー・ポリティクス—1950年代のラジオ放送および近年のLGBTQ映画」を企画、報告し、四方田千恵（垂水千恵）もコメンテーターとして参加した。

さらに研究分担者である及川茜は台湾現代文学を代表する作家である呉明益の最新代表作『雨の島』（原題：苦雨之地）256頁を翻訳刊行し、大きな話題となった。鯨向海『Aな夢』に引き続く及川の翻訳業績は、より多元的なアイデンティティに基づく台湾「新」文学が再構築されていく過程を具体的に発信したものとして、特に価値あるものと思われる。

継続するコロナ禍のために海外調査や、海外からの作家・研究者の招聘ができなかったことは遺憾であるが、令和4年度中には研究代表の四方田千恵（垂水千恵）の論文集『「台湾」を読む—台湾新文学から同志文学まで』（仮題）の刊行が予定されており、成果を公表できる見込みである。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計27件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 垂水千恵	4. 巻 53
2. 論文標題 台湾映画礼賛（特集台湾映画）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 73-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 780
2. 論文標題 台湾の国家人権博物館で学ぶ国を超えた人権の価値	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月間教育旅行	6. 最初と最後の頁 16-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 202109
2. 論文標題 時代を証言する台湾シネマ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ニューズウィーク日本版	6. 最初と最後の頁 28 - 29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木直大	4. 巻 23
2. 論文標題 台湾現代詩とスティーブン・スペンダー - 饒正太郎・紀弦・鮎川信夫 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア社会文化研究	6. 最初と最後の頁 113 - 140
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 65
2. 論文標題 都賀庭鐘『四鳴蝉』再論 華語語系文学 (Sinophone literature) の角度から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 和漢比較文学	6. 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 59
2. 論文標題 呉明益「「封じ込め可能」という嘘の背後に 様々な目論見が引き起こしたパンデミック」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 文藝	6. 最初と最後の頁 335-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 61
2. 論文標題 査杉「地下室の富豪」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 S-Fマガジン	6. 最初と最後の頁 46-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木直大	4. 巻 21
2. 論文標題 台湾現代詩をめぐる歴史記憶とその表象 『日曜日式散歩者』から『現代派在野外』まで	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア社会文化研究	6. 最初と最後の頁 145-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 1
2. 論文標題 以同志小話話;日本統治時期的可能性與不可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 跨・界; 第三屆 戰後亞洲文學與文化傳播國際工作坊 預稿集	6. 最初と最後の頁 92-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 3
2. 論文標題 重現 1990 年代台灣之校園青春電影中的性別保守日本; 以《藍色大門》《九 降風》《那 些年, 我們一起追的女孩》及《我的少女時代》	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第三屆竹塹學國 際學術研討會論文集	6. 最初と最後の頁 425-447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 垂水千恵	4. 巻 1
2. 論文標題 日本作家如何描寫俘虜經驗 ; 以大岡昇平・古山高麗雄・目取真俊為中心	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第二屆 戰後亞洲文學與文化傳播 國際工作坊 論文集	6. 最初と最後の頁 53-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 垂水千恵	4. 巻 77
2. 論文標題 座談会クイアリーディングとは何か	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 2 - 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 垂水千恵	4. 巻 456
2. 論文標題 Book Review リズミカルな訳文で読ませる好小品[甘耀明著/白水紀子訳 冬將軍が来た夏]	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 27 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木直大	4. 巻 772
2. 論文標題 来自日本の歴史回聲：黄亞歴《日曜日式散步者》的省思	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 幼獅文 藝	6. 最初と最後の頁 66-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木直大	4. 巻 17
2. 論文標題 西成彦著『外地巡礼「越境的」日本語文学論』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 植民地文化研究	6. 最初と最後の頁 163-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 115
2. 論文標題 ワールド オブ タカラヅカ 台湾歌劇 星組台湾公演 「Thunderbolt Fantasy 東離劍遊紀」台湾公演の前に 知りたい!台湾の伝統演劇といま	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歌劇	6. 最初と最後の頁 180-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 446
2. 論文標題 多元化台湾現地レポート(6) 台湾の一九四五年八月五日『終戦那一天』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 451
2. 論文標題 Book Review 噂とセックス、ひとりの女からひとつの国へ[李昂著/藤井省三訳 海峡を渡る幽霊 : 李昂短篇集]	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 28 - 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 446
2. 論文標題 Book Review 愛の精神勝利法[張愛玲著・濱田麻矢訳 中国が愛を知ったころ : 張愛玲短篇選]	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 29-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 17
2. 論文標題 司徒マリー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 植民地文化研究	6. 最初と最後の頁 186-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 17
2. 論文標題 アミナ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東南アジア文学	6. 最初と最後の頁 14 - 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 垂水千恵	4. 巻 4
2. 論文標題 台裔作家が描く台湾表象 陳舜臣・東山彰良を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ときわの杜論叢	6. 最初と最後の頁 20 - 36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 6
2. 論文標題 サラワク作家のダヤク人表象	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 マレーシア研究	6. 最初と最後の頁 107-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 443
2. 論文標題 多元化台湾現地レポート(4)二〇一七年の現代台湾における日本時代 『花開 時節』の「今日的戦略」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 14 - 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 442
2. 論文標題 多元化台湾現地レポート(2)台湾 離島の物語 金門島・蘭嶼・緑島が語る「中華民国」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 14 - 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤松美和子	4. 巻 441
2. 論文標題 多元化台湾現地レポート(1)台湾文学の二つの挑戦 新移民文学と文白論争について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東方	6. 最初と最後の頁 18 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木直大	4. 巻 3339
2. 論文標題 海洋文学作家シャマン・ラボガンの多声体の語りの物語	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計19件(うち招待講演 7件/うち国際学会 5件)

1. 発表者名 赤松美和子
2. 発表標題 台湾LGBTQ映画における子どもをめぐるポリティクス
3. 学会等名 日本台湾学会(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垂水千恵
2. 発表標題 「台湾」を読む 台湾新文学からLGBTQ文学まで
3. 学会等名 福岡ユネスコ文化講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垂水千恵
2. 発表標題 張文菁論文に対するコメント
3. 学会等名 日本台湾学会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 赤松美和子
2. 発表標題 LGBT文化の成熟と現代台湾映画におけるジェンダー表象
3. 学会等名 現代台湾文学・映画におけるLGBT文化の影響 ジェンダー表象に注目して
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 マレーシアで華人であること、ムスリムであること
3. 学会等名 中国モダニズム研究会
4. 発表年 2021年

1. 發表者名 垂水千惠
2. 發表標題 台灣同志文學對日本文化之接受－以紀大偉和邱妙津為例探討
3. 学会等名 國立清華大學（招待講演）
4. 發表年 2019年

1. 發表者名 垂水千惠
2. 發表標題 看見LGBT：台灣同志文學在日本的翻譯與接受
3. 学会等名 國立中興大學（招待講演）
4. 發表年 2019年

1. 發表者名 垂水千惠
2. 發表標題 日本作家如何描寫俘虜經驗；以大岡昇平・古山高麗雄・目取真俊為中心
3. 学会等名 國立政治大學（招待講演）
4. 發表年 2019年

1. 發表者名 赤松美和子
2. 發表標題 重現1990年代台灣之校園青春電影中的性別保守日本；以《藍色大門》、《九降風》、《那些年，我們一起追的女孩》及《我的少女時代》為例
3. 学会等名 國立台灣師範大學（招待講演）
4. 發表年 2019年

1. 発表者名 赤松美和子
2. 発表標題 現代台湾映画が回顧する1990年代とジェンダー保守日本
3. 学会等名 一橋大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 華語語系文学の部外者 非華人による非母語としての中国語創作
3. 学会等名 シンポジウム：中華世界 その統合と分裂の諸相 -
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 異托邦的夢是誰の夢？：試論《台北星期天》與移民工文學（ヘテロトピアの夢是誰の夢？：映画『ピノイ・サンデー』と移民工文学試論）
3. 学会等名 赤道上のメイド・イン・台湾：蔡明亮・現代台湾馬華映像及び芸術（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 都賀庭鐘『四鳴蝉』再論 華語語系文学（Sinophone literature）の角度から
3. 学会等名 和漢比較文学会第38回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 垂水千恵
2. 発表標題 日本華裔作家的台灣 / 中國書寫 以陳舜臣為中心
3. 学会等名 戦後亜州文化與文化伝播国際工作坊 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 垂水千恵
2. 発表標題 扣連鄭清文・邱妙津・又吉榮喜之嘗試
3. 学会等名 鄭清文文学国際學術研討会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 垂水千恵
2. 発表標題 津島佑子試論 互補的想像力：從異族到野蠻
3. 学会等名 第4次東亜殖民地文学国際會議 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 塞がれない穴：黄錦樹の創作におけるマラヤ共産党
3. 学会等名 日本マレーシア学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 シンガポール：高層階の誘惑
3. 学会等名 中国語中国文学談話会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 サラワク作家のダヤク人表象
3. 学会等名 研究会「台湾現代文学における多元性の再構築 新移民・LGBT文学を中心に」第1回「馬華文学から新移民文学へ」
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 及川茜訳	4. 発行年 2021年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 256
3. 書名 吳明益・雨の島	

1. 著者名 垂水千恵	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国立台湾大学出版中心	5. 総ページ数 465
3. 書名 奮鬥の心霊：呂赫若與他的時代	

1. 著者名 赤松美和子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 22
3. 書名 『文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集』台湾同志文学が日本統治期を語ることの可能性と不可能性	

1. 著者名 三木直大	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風媒社	5. 総ページ数 39
3. 書名 『民主化に挑んだ台湾』不在のエキリチュールと歴史への臨場 - 楊牧 『ある人が私に公理と正義について聞いた』を読む	

1. 著者名 及川茜	4. 発行年 2020年
2. 出版社 新紀元社	5. 総ページ数 38
3. 書名 『時のきざし 現代中華SF傑作選』何夕「異域」	

1. 著者名 及川茜	4. 発行年 2020年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 55
3. 書名 『中国・SF・革命』かく景芳「阿房宮」	

1. 著者名 及川茜	4. 発行年 2019年
2. 出版社 英明企画編集	5. 総ページ数 480
3. 書名 山本博之編著『マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界』	

1. 著者名 及川茜	4. 発行年 2018年
2. 出版社 思潮社	5. 総ページ数 173
3. 書名 Aな夢：鯨向海詩集	

1. 著者名 及川 茜	4. 発行年 2019年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 256
3. 書名 八才景芳短篇集	

1. 著者名 及川茜	4. 発行年 2017年
2. 出版社 麥田出版	5. 総ページ数 327
3. 書名 見山又是山：李永平研究	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三木 直大  (MIKI NAOTAKE)  (10190612)	広島大学・総合科学研究科・名誉教授    (15401)	
研究分担者	赤松 美和子(佐藤美和子)  (AKAMATSU MIWAKO)  (00510653)	大妻女子大学・比較文化学部・准教授    (32604)	
研究分担者	及川 茜  (OIKAWA AKANE)  (40646725)	神田外語大学・外国語学部・講師    (32510)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 ズーム研究会「台湾現代文学における多元性の再構築 新移民・LGBT文学を中心に」	開催年 2020年～2021年
国際研究集会 跨・界；第三屆 戦後亞洲文學與文化傳播國際工作坊	開催年 2019年～2020年
国際研究集会 国際公開シンポジウム「台湾における婚姻平等化への道」	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際シンポジウム「台湾詩新世代 現在詩と性の表象」	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 移民工文学與文學獎國際研討會	開催年 2017年～2017年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
	淡江大学	清華大学	台湾大学	
その他の国・地域(台湾)				
韓国	高麗大学			
中国	南京大學			
マレーシア	ラーマン大学			

共同研究相手国	相手方研究機関			
シンガポール	南洋理工大学			